

そほう
組 報

かながわ

No.6 1993.3.15

身近なお寺の情報誌



たとい、この世界中が大火で充満するようなことになっても、かならずこれを踏み越えて阿弥陀仏の教えを求め聞き、よろこんで信じ、身につけ、その教えの通りに実践すべきである。なぜならこの教えは、多くの菩薩がどれほど聞きたいと願っても、なかなか聞くことができない尊い教えだからである。もし人びとのなかで、この教えを聞いて歩むものがあれば、その人は無上の悟りへの道ゆきを、最後まで転んだり退いたりすることはない。

(仏説無量寿經)

浄土真宗本願寺派

そほう かながわ 第6号

平和な社会を願い

第十二回千鳥ヶ淵

全戦没者追悼法要を厳修

一九九二(平成四)年九月十八日、東京都千代田区の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において、大谷光真門主ご親修により、第十二回全戦没者追悼法要が営まれました。当日は好天にも恵まれ、会場は全国からの平和への熱意に満ちた参拝者であふれていました。

千鳥ヶ淵の墓苑は、先の大戦で命を失われたすべての人々の死を悼み、平和への思いを新たにすると、国民の願いによって設けられた国立の墓苑です。浄土真宗本願寺派では、一九八一(昭和五十六)年よりこの墓苑にて、平和をまもる営みとして追悼法要が勤められています。生命の尊さに目覚め、ともに手を取りあって平和な社会を実現する営みこそ、念仏者のあるべき姿であります。

東京教区仏教婦人会連盟

結成三十五周年記念大会

開催される

去る十月十三日、横浜プリンスホテルで、仏婦総連盟総裁の大谷範子御裏方を迎えて、教区仏婦連盟結成三十五周年記念大会が開催されました。会場は約二千二百名の参加者に埋め尽くされ、熱気があふれていました。

大会は「十方に響けいのちの讃歌」をテーマに掲げ、午後一時から第一部式典、午後六時半からは第二部レセプションと進行。音楽法要で開会した第一部では、本願寺派教学研究所副所長・梯実田先生(かへしづみ)の「生死を超えて」と題しての記念講演の後、仏婦会員代表による意見発表が行われ

ました。すべてのいのちがひとしく、阿弥陀仏の願いの中に生かされているのちであることを、一同あらためて確認する意義ある集いになりました。

プログラムには「ふれあいコンサート」も組み込まれ、ステージと会場とが一体になっての大合唱や、インタビュを中心に行進したレセプションでは、参加者がなごやかに思いを語り合うなど、大会は大盛況の内に幕を閉じました。

仏事のころえ



仏事の必需品

仏事のときに、支度するもの。黒い服または着物(通称・喪服)、包み物(のし袋と現金)、御供物(生花・菓子・果物等)などと結構気を使います。本当のところどうしたら良いのでしょうか。

浄土真宗の門徒にとりまして仏事の必需品は、まず念珠(数珠)と門徒式章しきしょうです。

念珠は、上の写真のような単念珠を使用します。仏具店では、男物・女物に分けて販売しています。珠の色や材質は好みで選んでください。ファッション感覚で、服装とコーディネートするのによいでしょう。

門徒式章は、通称「輪袈裟」ともいいます。仏具店で売っていますが、お寺の名の入った式章もありますので、まだお持ちでない方は、まず所属寺のご住職にご相談ください。

服装は、葬儀のときには喪服でよろしいのですが、年回の法要のときは平服で良いのです。やはり派手な色やデザインのは避け、地味な色調のものにします。黒服の歴史は意外に新しいのです。日本での洋装の歴史を考えれば分かりますよね。最近では黒を着る方が多いので、ひとりだけ平服だったということになりかねませんが、門徒式章をつけていれば堂々たるものです。できれば、施主側から平服での参拝を案内することが望ましく思います。

のし袋になんと書いたら良いか、よく悩むところです。「御香料」・「御香資」等と書くのが良いと思いますが、「御仏前」と印刷されたものもありますので、まあそれでもよいでしょう。なお、「御霊前」はよしたほうがよいと思います。

お焼香などの作法は、どこの宗派のところへ行っても、浄土真宗の作法で自信をもって堂々といたしましょう。

組の動きを

ふりかえる

1992(平成4)年度神奈川組活動報告

['92年4月~'93年3月]

■神奈川組仏教壮年会が結成
組内の各寺院のご門徒があい集い、共に仏法を学び交流をはかる目的で「神奈川組仏教壮年会」が結成されました。発会式は五月三十日、長念寺において約百名の会員が参加し盛大に行われ、東京教区教務所長・立森成芳師による「本願を信じ念仏申さば仏になる」と題しての記念講演がありました。(写真右下)

十月三十一日(宣正寺)および本年一月三十日(宝田寺)には、宣正寺住職・早島鏡正師の講師のもと「ゴータマ・ブッダ／その生涯と思想」をテーマに勉強会が開催されました。今後の勉強会の日程は本年五月二十九日、七月三十一日、十月三十日の各土曜日に開催の予定。



■神奈川組仏教婦人会連盟「めぐみ会」
六月三日、常念寺にて総会。都留組福泉寺住職・小笠原博慧師による「私って誰?」と題しての記念講演がありました。

九月二日には、善教寺で「あえてよかったね」をテーマに研修会。ご主人をガンで亡くされた雪山玲子さん(富山教区・善巧寺坊守)の体験

幹運動推進委員会副会長・西山公昭師を講師に迎え、門徒総代を対象にした研修会を開催。

■坊守会
六月九日、横浜プリンスホテルで挙行される教区仏婦連盟結成三十五周年大会の下見を兼ねて、同ホテルで協議会がもたれました。また二月八日には善然寺において総会。坊守(お寺の奥さん)方も活躍中。

■教区基幹運動組巡回(僧侶研修会)
十二月十四日(宝光寺)、教区基幹運動推進委員と神奈川組の僧侶とで、宗門の掲げる基幹運動の課題について熱のこもった話し合いがもたれました。

■往生
九月、光輪寺前坊守・村石トネさん往生。八十六才

■普請
長延寺山門・落慶
常念寺庫裡・改築着工
東善寺本堂・竣工
善龍寺会館・竣工
三ツ境布教所・本堂新築着工

や勤行作法などの学習を重ねてきたこの連続研修会。無事に全課程を終えた五十七名のご門徒に、東京教区・立森教務所長より修了証が授与されました。(写真左)



なお、第三期の連続研修会は本年四月より開講される予定。詳細は所属寺院まで。

■門徒総代研修会
十一月九日(宝田寺)、東京教区基

談を通し、夫婦愛や家族のつながりについて共に考えました。

■第二十一回南ブロックお寺の学校
七月二十七日(二十九日)、静岡市の教覚寺と静岡県立三ヶ日青年の家を会場に、神奈川・山梨・静岡の三県から参加者百十二名を集め開催。お勤め、学習(いのちの尊さ、しんらんさま、三ヶ日原人)、カッター

(二、三十人乗り手こぎボート)、キャンプファイヤーなど多彩なプログラムに、子供たちは積極的に楽しそうに参加していました。

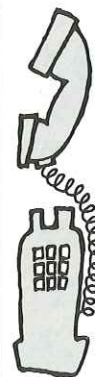
なお、今年は七月二十六日(二十八日)、静岡県三島市の「箱根の里」で開催予定。参加資格は小学校三年生から中学校三年生まで。希望者は所属寺院にお問い合わせ下さい。

■第二期神奈川組連続研修会が修了
十月三日、本願寺築地別院で第二期の連続研修会の修了式が行われました。当日は主任講師の藤田恭爾師が「反省と展望」と題して記念講義。一九九一年十月にスタートして以来、全十二回にわたり浄土真宗のみ教え

電話で聞こう3分法話

ちょっと一息。電話で仏さまのみ教えを!

- 築地本願寺こころの電話
TEL.03(3541)0282
TEL.045(662)5629
- 長念寺テレホン法話
TEL.044(911)8282
- 横浜布教所テレホン法話
TEL.045(341)5700



ビハーラ電話相談

—老いの悩み、病の苦しみに—

相談日

毎週月・金曜日/午後2時~5時

浄土真宗東京ビハーラ(築地本願寺内)

TEL.03(5565)3418

み教えに聞く ●●●●●●●●



亡き人を縁として仏法にあう

曾我 求真



毎年、お彼岸やお盆の時期になりますと、テレビでは墓地を話題にした番組が放映されます。最近では、墓地用地の不足が問題になり、各自自治体では、壁墓地や散骨スペースの確保などが検討されているのだそうです。

お寺でお彼岸などの時に、ご門徒の参拝の様子を見ておりますと、だいたい三つのパターンに分かれています。

- 一、必ず本堂に上がって参拝して、お墓参りをする人
- 二、本堂前で一礼はするが上がらないで、お墓参りをする人
- 三、本堂を無視して通りすぎ、お墓参りだけする人

概して、三番目の方が多いように思われます。それは、お寺参りの主目的がお墓参りだからです。古来から一般には、お墓参りは、先祖を敬い感謝する作法であり、また故人の冥福を祈り崇り（た）を鎮め（しず）めるという意味で大切にされてきました。ですから、お墓参りをすませると、責任を果たしたような気持ちになり「これで、すつとした」という方が多いのです。

たしかに、私たちは突如として人間界に生まれてきたわけではありません。私たちひとりひとりが、多くの先祖から受け継がれた命を生きているのです。もし、その中の一つでも欠けていたならば、今の私はあり得ないのです。

ところで、遺骨の納められているお墓にお参りすることによって、ご先祖に責任を果たしたことになるのでしょうか。

みなさんは、お経の最後に「往生安楽国^{おうじやうあんらくこく}」という言葉があることをご存じだと思います。「阿弥陀さまのお浄土（安楽国）に往生いたしましょう」という合言葉と考えていただいて結構だと思います。阿弥陀さまは、現代に生きる私たちだけでなく、私の命につないでくださった多くのご先祖にもお慈悲をかけてくださった 것입니다。大きなお慈悲の中で生きておられたご先祖も、必ずやお浄土に生まれられ、仏と成られたことでしょう。そして念のため申し添えますと、お浄土は、お墓ではありません。

ふつう、「亡き父母や子供は、どこでどうしているのだろうか」と、この世の人びとが、先立った人びとを心配するのが常識のような気がします。ところが、親鸞聖人は『歎異抄』の中で、「浄土の慈悲といふは、念仏していそぎ仏になりて、大慈大悲心をもって、おもふがごとく衆生（しゆじやう）を利益するをいふべきなり」と述べられています。すなわち、お浄土で仏に成ってこそ思う存分に衆生を救うことができることと示されているのです。

ということは、この世の人びとが、先立った人びとを心配するより先に、お浄土に生まれ阿弥陀さまと同じ仏と成られた先祖や故人が、むしろ私たちを心配してくださっているのです。

したがって、亡き人の心を訪ね安心していただく道は、仏法を聴聞し仏さまのお心を聞かせていただくところにあるのです。冥福を祈り崇りを鎮めるなど考えることは、先祖を粗末にしていることにほかなりません。お墓参りを縁として、家族みなでお寺のご本尊にお参りし仏法にあうことこそ、阿弥陀さまの大きなお慈悲の中に生きる私たちの責任なのであります。



お寺を訪ねて(5)

彫刻を楽しめるお寺

長延寺

(横浜市緑区三保町二四四〇)

JR横浜線中山駅より北西に歩いて約二十分。長延寺は三保町の小高い丘の上に建っている。ここ数年の都市化により、あたりは閑静な住宅街になっている。

長延寺は、もとは天正八(一五八〇)年、都筑郡吉田村(現在の港北区新吉田町)に開創され、元和六(一六二〇)年には神奈川宿(現在の神奈川新町付近)に一字を創立。爾来、ここで約三百五十年にわたり寺門繁栄の歴史を刻んだ。幕末には、長延寺にオランダ

領事館が設置された時期もあった。昭和四十年、神奈川区から緑区三保町に寺基を移転し、現在に至っている。

その翌年落成した鉄筋コンクリート造りの本堂は、同年の神奈川県下優良建築コンクールで優秀賞を受賞している。

昨年十月には新しく山門が完成し、境内はさらに整備された。この山門は、彫刻家・安田侃氏の作品で、従来のような木造でなくブロンズ製の斬新なものである。同氏は文化庁が選ぶ平成四年度芸術選奨文部大臣新人賞を受賞している新進気鋭の作家である。「帰門(きもん)」と名付けられたこの山門は、同一の作品がミラノ市主催の展覧会に出品され、同市に永久保存されている。

この山門落成を機に長延寺では、かつては海を臨む地にあったことから名付けられた「海見山」という山号を、「命帰山」に変更している。

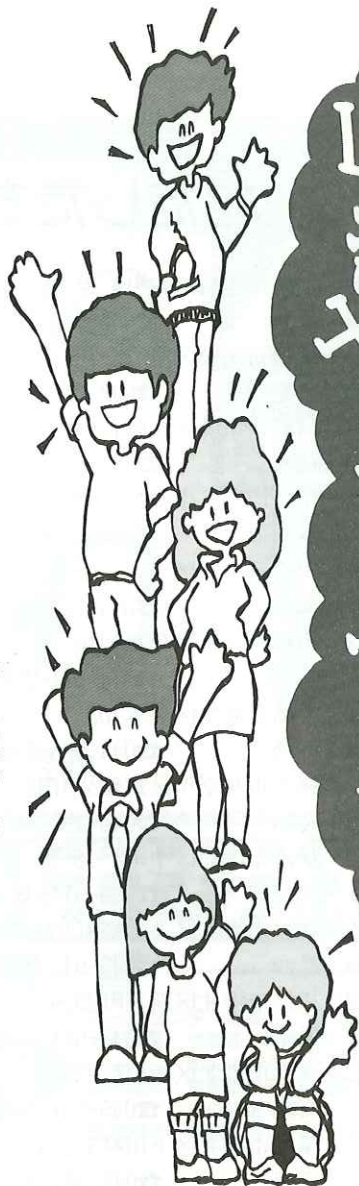
長延寺境内は、そのほかにも安田氏による彫刻や野外舞台などが設けられ、造形美を楽しめる空間が広がっている。

落成した山門「帰門」と長延寺本堂

桜木町・宝光寺の

にぎやかな青年会

藤田恭爾



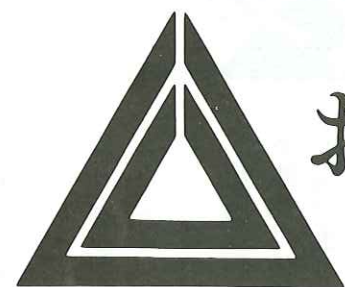
毎月の第二土曜日は午後七時から青年会です。一人、また一人と集まってくれます。十二月は最高の十人が集まりました。忘年会をしようと話が出て、関西出身の会員が「お好み焼き」を提案。調理師の腕をふるうことに相成りました。彼は午前中から買い出し、下ごしらえと一人で大活躍。やる以上はいい加減ができない彼のこと、出汁をとり、長辛をすり、薄力粉できめの細かな下地の完成。キャベツを刻み、鳥賊刺しを大根のつまの上にきれいに並べました。みんなの来る前に、こどもをダシにしてまず腹ごしらえをしておこうと、関西流の焼き方を真似して食べようと思ったところ、会員到着。

「まあ食べてみて……」
「どお。おいしい?」
「ええ、これはもう大変なものです!」
「そお。よかった」
ジュウ、ジュウ、ジュウ。
「こ・ん・に・ち・は」
「やあ。今晚は、ようこそ」
韓国と中国からの留学生も受験で忙しい中を来てくれました。
「どうぞ。口にあうかどうか……」
「どう?」
「韓国でも、お正月には同じ様なのを作ります」
「へえ。そうなの……。鳥賊の刺身。中国のお嬢ちゃんはどうです?」

「ワタシは苦手です。中国でもワタシのところでは火を通さない……」(内モンゴル)
「ボクは大丈夫です……。お・い・し・い・です」(釜山)
こんなことから、忘年会「お好み焼き大会」が佳境に入っていたのです。アルコールぬきのウーロン茶のみで。パソコンの話。バスのディーゼルエンジンや型式の話。日本の大学。インド旅行。アメリカ旅行。中国、韓国の風習。宝光寺の寺報「たからぶね」の編集の話等々。話題は政治、経済、文化、趣味と多岐にわたります。にぎやかに、和気あいあいと、終電・終バスの時間まで続きます。そして、仏教や真宗のマジメな話もチョット加えて……。

各自が自分で考え、自分で悩み、自ら試みて、自分の生きる道を「まじめ」にジックリと模索して、自分の言葉でしゃべります。ただ聞いているだけでも、私には大変参考になります。国や風習や考え方がちがっていても、まじめに生きて行こうとする「若い気力」は、お互いを尊重しあっています。この「青年の集い」をお互いが大事にしていこうとする姿勢と熱意は忘れてはなりません。遠慮せずにおもいうことを自由に言い合える雰囲気大切にしたいと、私は思っています。

手のしわとしわを合わせて…しあわせ



お仏壇の

はせがわ



お仏壇の
はせがわ



テレビでおなじみの
……ゆうこちゃん

お仏壇のある豊かな暮らしをお届けします。

△お仏壇のはせがわ

会社概要

資本金：26億3,675万円

株式総数：1,136万株

社員数：850名

製造部：株式会社はせがわ美術工芸(国宝美術品、寺院神社)

株長谷川仏壇製作所(純金箔仏壇)

株長谷川江川木工機(唐木仏壇)

株長谷川唐木仏壇製作所(唐木仏壇)

業界初の
上場企業

ホームセンター事業部：代0489-83-1511

昭和59年 京都西本願寺阿弥陀堂

昭和大修事業

昭和62年 京都清水寺開山堂御厨子・三重塔

堂内修復事業

昭和63年 福岡証券取引所業界初の株式上場

横浜・川崎地区の店舗ご案内

- 上大岡店 横浜市港南区日野5-1-25 ☎045-844-5740
- 戸塚店 横浜市戸塚区柏尾町440-1 ☎045-824-1166
- 今宿店 横浜市旭区今宿東町1621 ☎045-951-5311
- 新杉田店 横浜市磯子区杉田1-2-3 ☎045-774-6011
- 鶴見店 横浜市鶴見区駒岡町1488-1 ☎045-583-2271
- 川崎店 川崎市川崎区東田町2-1 ☎044-222-7577
- 鷺沼店 川崎市宮前区東有馬1-1-19 ☎044-852-1268
- 町田店 東京都町田市中町1-21-14 ☎0427-29-6711

営業時間 午前10時～午後7時 日曜・祝日も営業いたしております。



浄土真宗本願寺派 わたしたちのお寺です

神奈川組

- えんこうじ 円光寺 〒210 川崎市川崎区台町4-21 ☎044-266-2677
- ほうえんじ 宝円寺 〒210 川崎市川崎区境町5-10 ☎044-222-3941
- こうとくじ 光徳寺 〒210 川崎市川崎区京町1-14-3 ☎044-333-3997
- しょうらくじ 正楽寺 〒210 川崎市幸区南幸町2-49 ☎044-522-1961
- こうがんじ 高元寺 〒211 川崎市中原区宮内4-3-12 ☎044-777-6544
- ちやうねんじ 長念寺 〒214 川崎市多摩区登戸1416 ☎044-911-2549
- じやうねんじ 常念寺 〒215 川崎市麻生区栗木203 ☎044-988-0205
- ぜんりゅうじ 善龍寺 〒221 横浜市神奈川区斎藤分町33 ☎045-491-9431
- とうぜんじ 東善寺 〒223 横浜市港北区中川7-18-29 ☎045-911-3509
- じゅふくじ 寿福寺 〒223 横浜市港北区茅ヶ崎町1026 ☎045-942-3765
- ぜんきやうじ 善教寺 〒223 横浜市港北区新羽町2396 ☎045-541-7684
- きやうかくじ 教覚寺 〒223 横浜市港北区新羽町2395 ☎045-531-5050
- こうりんじ 光輪寺 〒223 横浜市港北区下田町3-2-9 ☎045-561-8671
- さいじやうじ 最乗寺 〒223 横浜市港北区勝田町1277 ☎045-941-3541

- ちやうとくじ 長徳寺 〒223 横浜市港北区牛久保西3-9-1 ☎045-911-7351
- ちやうえんじ 長延寺 〒226 横浜市緑区三保町2440 ☎045-932-3348
- さいしやうじ 西勝寺 〒225 横浜市緑区新石川1-10-8 ☎045-911-0156
- さいがんじ 最願寺 〒230 横浜市鶴見区矢向4-19-18 ☎045-571-4694
- ほうこうじ 宝光寺 〒231 横浜市中区桜木町3-5 ☎045-201-3509
- せんしやうじ 宣正寺 〒232 横浜市中区中里3-20-18 ☎045-731-2679
- ぜんねんじ 善然寺 〒232 横浜市中区大岡2-26-17 ☎045-741-2351
- せいらいじ 清来寺 〒241 横浜市旭区今宿南町1895 ☎045-951-0012

本願寺築地別院都市開教布教所

- 横浜布教所 〒240 横浜市保土ヶ谷区和田2-12-19 ☎045-341-7455
- 三ツ境布教所 〒246 横浜市瀬谷区阿久和町3913 ☎045-364-2266
- 横浜緑布教所 〒226 横浜市緑区加賀原2-18-1 ☎045-934-8648
- 磯子布教所 〒235 横浜市磯子区磯子3-7-12 ☎045-752-2506

かながわそ
「神奈川組」とは…

私たちの教団(浄土真宗本願寺派)は、全国に一万余りの寺院を擁し教団独自の地区割をしています。その一番小さな単位を「組」といいます。神奈川組は、川崎市と横浜市中部と北部の寺院によって構成されています。

浄土真宗本願寺派東京教区神奈川組

組長/永野 弥然

副組長/林 信順

副組長/斎藤 幸紹

教区会議員/藤江 昭道

相談員/小林 泰善

うろつく

人間の心をわずらわし身をなやまして
いるのが「煩惱」です。なかでも、貪欲
(欲ばること、むさぼること)、瞋恚(い
かり、憎悪)、愚痴(真理について無知で
あること、愚かさ)はその代表的なもの
で、三毒の煩惱といわれます。

煩惱は別名「漏」ともいいます。煩惱
を離れた状態のことを「無漏」、また逆に
煩惱の迷いの中にある状態を「有漏」と
いうのです。ふだんよく使われる「うろ
うろする」とか「うろつく」などの言葉
も、実はこの「有漏」からきています。
辞書をみると、「うろろう」は「方向も
定まらず、落ち着きなく動き回るさま」。
「うろつく」は「目的も定まらず行つた
り来りすること」とあります。

人生という道のりも、煩惱のおもむく
ままにあっちへうろろう、こっちへうろ
うろしてばかりでは、しまいには自分の
行き先や現在位置すらも見失ってしま
います。

自分の歩みをしっかりと見きわめて、
迷子にならないよう、くれぐれもご注意
を。

編集後記

◆今年も春がやって来る。待ちどお
しいはずなのになぜか憂鬱。そろそ
ろ鼻がむずがゆい。「花粉症」これさ
えなければ春は大好き。

◆科学が発達したといわれる現代。
同時に人間の本質も成長しているの
だろうか。それとも……。(Y・F)

◆強い感情や驚きの表現は、英語で
「おう・まい・ゴット」と言います。
でも、私は仏教徒だから、「おう・ま
い・ブッダ」と言う。(Y・M)

◆日本人は他人のことにはよく関心
を持ちますが、自分のことを干渉さ
れると腹が立ちます。連研に参加し
て自分をもう一度見つめ直してはい
かがですか。(M・F)

◆金儲けのためには手段を選ばない
霊視商法や靈感商法。魑魅魍魎に踊
る者、踊らされる者。なぜ繰り返さ
れるのか。ところで魑魅魍魎って何。
真の仏法を聞こうよ。(T・K)

◆『組報かながわ』は、川崎市と横浜
市北部・中部に散在する浄土真宗本
願寺派の寺院が協力して編集してい
る、ご門徒のための広報誌です。皆
様からのご意見やご質問などを、お
待ちしています。(D・H)



浄土真宗本願寺派 (西本願寺)

組報かながわ No.6

■発行日 1993年3月15日
(毎年1回3月発行)

■編集発行 浄土真宗本願寺派
東京教区神奈川組
基幹運動推進委員会

〒232 横浜市内南区大岡2-26-17 善然寺内